

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名	ステンレス鋼、耐熱鋼、ニッケル及びニッケル合金
会社名	株式会社UEX
住所	東京都品川区東品川二丁目2番24号
担当部門	総務部
電話番号	03-5460-6500
FAX番号	03-5460-6409
緊急連絡電話番号	同上
想定される用途	各種化学用・工業用プラント、輸送機器、精密機器、産業機器の部材など
使用上の制限	加工等で発じんする可能性が有る場合は、化学物質管理者等専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類 危険有害性情報の括弧内にGHSで定められた危険有害性情報コード（Hコード）を示す。

健康に対する有害性

危険・有害性項目	分類結果	危険有害性情報
急性毒性（経口）	区分4	飲み込むと有害（H302）
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分1	吸入すると生命に危険（気体、蒸気、粉じん及びミスト）
皮膚腐食性／刺激性	区分2	皮膚刺激(H315)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激	区分2、2B	強い眼刺激(H319)、眼刺激(H320)
呼吸器感作性	区分1、1A	吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を 起こすおそれ(H334)
皮膚感作性	区分1、1A	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(H317)
発がん性	区分2	発がんのおそれ(H351)
生殖毒性	区分1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(H360)
特定標的臓器毒性（単回）	区分1	臓器の障害（呼吸器、腎臓）（H370）
	区分3	呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）（H335）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	長期又は反復暴露による臓器（呼吸器、神経系、肝臓） の障害（H372）

環境に対する有害性

危険・有害性項目	分類結果	危険有害性情報
水生環境有害性 短期（急性）	区分1、2	水性生物に毒性（H401）
水生環境有害性 長期（慢性）	区分1、2	長期継続的影響によって水性生物に毒性（H411）

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語 危険

危険有害性情報 上記の健康に関する有害性、環境に対する有害性に記載

注意書き 括弧内にGHSで定められた注意書きの文言に対応する推奨コード（Pコード）を示す。

<安全対策>

- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
- 粉塵／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
- 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。(P270)
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
- 環境への放出をさけること。(P273)
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。(P284)

<応急措置>

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸をで洗うこと。(P302+P352)
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P303+P351+P338)
- ・ばく露又はばく露の懸念が有る場合、医師の診断／手当をうけること。(P308+P313)
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。(P314)
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当をうけること。(P333+P313)
- ・眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。(P337+P313)
- ・呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。(P342+P311)
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には選択すること。(P362+P364)

<廃棄>

- ・内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規制に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
主な成分及び含有量

混合物（合金鋼）

成分	記号	含有量(Wt%)	CAS番号	化管法 管理番号	安衛法 政令番号
鉄	Fe	残量	7439-89-6	—	—
マンガン	Mn	0 ~ 20	7439-96-5	412	550
ニッケル	Ni	0 ~ 100	7440-02-0	308	418
クロム	Cr	0 ~ 35	7440-47-3	87	142
モリブデン	Mo	0 ~ 20	7439-98-7	453	603
銅	Cu	0 ~ 40	7440-50-8	—	379
タングステン	W	0 ~ 3	7440-33-7	—	337
アルミニウム	Al	0 ~ 2	7429-90-5	—	37
コバルト	Co	0 ~ 1	7440-48-4	132	172
スズ	Sn	0 ~ 1	7440-31-5	—	322

- (注) 1. 成分の含有量は上記成分範囲において製品規格により異なる。
2. 用途により上記主成分以外の微量元素を含むものがある。
3. 詳細については規格又は製造メーカーの検査証明書を確認すること。

4. 応急措置

前記 2 項の注意書きを参照すること。

5. 火災時の措置

不燃性（固体）の状態であり、周辺の火災においても通常の散水・消火器等の使用に制限はない。

6. 漏出時の措置

製品は固体であり、一般的な環境下で露出することはないが、製品の加工等により発生した粉塵／ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

<人体に対する注意事項>

適切な保護具を着用して、粉塵／ヒュームの吸入や眼・口への侵入を防ぐこと。

<保護具及び緊急時措置>

後記8項（ばく露防止及び保護措置）の保護具を参照すること。

<環境に対する注意事項>

製品の加工等により発生した粉塵類は回収すること。

<封じ込め及び浄化の方法及び機材>

製品の加工等により発生した粉塵類は適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

<技術的対策>

- ・製品を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い粉塵／ヒューム等を発生する場合は、適切な保護具を着用すること。
- ・粉塵／ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気／全体換気を行うこと。

<安全取扱い注意事項>

- ・重量物であるため、転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。
- ・製品の加工等により発生した粉塵／ヒューム等を吸入又は飲み込まないよう注意すること。

<安全な保管条件>

- ・水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触をさけること。
- ・高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー梱包を行うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

製品は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露及び保護措置に関する有用な情報はない。

ただし、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際には、ヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

<許容濃度>

成分	CAS番号	日本産業衛生学会 値 (mg/m ³)	ACGIH 値 (mg/m ³)
マンガン (Mn)	7439-96-5	0.1 (総粉塵) 0.02 (吸入性粉塵)	0.1 (I) 0.02 (R)
ニッケル (Ni)	7440-02-0	1	1.5
クロム (Cr)	7440-47-3	0.5	0.5
モリブデン (Mo)	inhalable fraction	7439-98-7	10
	Respirable fraction	"	3
銅 (Cu)	Dsuts and mists, as Cu	7440-50-8	1
	Fume, as Cu	"	0.2
タングステン (W)	7440-33-7	—	3
アルミニウム	7429-90-5	—	1
コバルト (Co)	7440-48-4	0.05	0.02
スズ (Sn)	7440-31-5	—	2

注1) 表中の"—"は、区分に該当しない又は分類できないことを意味する。

表中の (I) はInhalable fraction、(R) はRespirable fraction

<設備対策>

適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

<保護具>

適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外 観	銀白色の固体
臭 い	無臭
融 点	1250℃以上
比重 (相対密度)	7 ~ 9 g/cm ³
溶 解 性	水に不溶

10. 安定性及び反応性

反応性/化学的安定性	一般の環境下では安定している。
危険有害反応可能性	酸などの化学物質と接触すると、有害なガスの発生や酸欠の原因となる可能性がある。
さけるべき条件	高温・混蝕危険物質との接触は避ける。
混蝕危険物質	酸及び酸化性物質
危険有害な分解生成物	溶断、溶接などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11. 有害性情報

危険・有害性項目	Mn	Ni	Cr	Mo	Cu	Al	W	Co	Sn
急性毒性 (経口)	—	—	—	—	—	—	—	区分4	—
急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト)	—	—	—	—	—	—	—	区分1	—
皮膚腐食性/刺激性	—	—	—	区分2	—	—	—	—	—
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	—	—	区分2	区分2	—	—	区分2B	区分2B	区分2
呼吸器感作性	—	区分1	区分1A	—	—	—	—	区分1A	—
皮膚感作性	—	区分1	区分1A	—	区分1A	—	—	区分1A	—
発がん性	—	区分2	—	—	—	—	—	区分2	—
生殖毒性	区分1B	—	—	—	—	—	—	区分1B	—
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	—	区分1	区分3	区分3	区分1,3	区分1	区分3	区分1	区分3
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1	区分1	—	—	—	区分1	—	区分1	区分1
誤えん有害性	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 表中の"—"は、区分に該当しない (分類対象外を含む) 又は分類できないことを意味する。

注2) 区分の情報は前記2項 (危険有害性の要約) を参照すること。

1 2. 環境影響情報

危険・有害性項目	Mn	Ni	Cr	Mo	Cu	Al	W	Co	Sn
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2	—	—	—	—	—	—	—	—
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2	—	—	—	区分 4	区分 4	—	—	—
オゾン層への有害性	—	—	—	—	—	—	—	—	—

残留性・分解性・生体蓄積性・土壌中の移動性の情報は無い。

注 1）表中の“—”は、区分に該当しない（分類対象外を含む）又は分類できないことを意味する。

注 2）区分の情報は前記 2 項（危険有害性の要約）を参照すること。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

汚染容器及び包装 容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

1 4. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

1 6. その他の情報

参考資料

- ・JIS7253：2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示および安全データシート」
- ・GHS対応—化管法・安衛法・毒劇法におけるラベル表示・SDS提供制度（経済産業省、厚生労働省）
- ・許容濃度等の勧告（2023年度）日本産業衛生学会資料
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）HP
- ・職場のあんぜんサイト（厚生労働省）